20 知識

問題用紙

敬語

組　番　名前

／100

明治図書版

1 **敬語の種類**　次の――線部の敬語の種類を、あとから一つずつ選びなさい。（同じものを二回選んでもよい。）

① 先生が本をお読みになる。（　　）
② お土産を差し上げる。（　　）
③ 外は強風が吹いています。（　　）
④ 大勢のお客様をお招きする。（　　）
⑤ 監督が会場にいらっしゃる。（　　）

ア 尊敬語　イ 謙譲語　ウ 丁寧語

4×5

2 **尊敬語**　次の言葉を尊敬語に直して書きなさい。

① 言う　［　　］
② 見る　［　　］
③ 食べる　［　　］

4×3

3 **謙譲語**　次の□に入る敬語を、あとから一つずつ選びなさい。

① 校長先生のお話をみんなで□。
ア 聞く　イ 伺う　（　　）
ウ お聞きになる

② 先生、母も出席すると□。
ア 言っていました　（　　）
イ 申していました
ウ おっしゃっていました

4×2

4 **丁寧語・美化語**　次の文中の丁寧語には――線を、美化語には‥‥線を引きなさい。

① どうもありがとうございます。
② 私が美代子の姉です。
③ お茶をお出しする。
④ ごはんができたよ。

4×4

5 **敬語の用法**　次の――線部の敬語が正しければ○を、間違っていれば×を書きなさい。

① 私は、県知事にお目にかかった。（　　）
② ぼくはあの方をご存じである。（　　）
③ ぼくが来賓（らいひん）の方々を席までご案内する。（　　）
④ 木村さんはおりますか。（　　）
⑤ 眺めはきれいでいらっしゃいましたか。（　　）

4×5

6 **敬語の表現**　次の――線部を、敬語表現に書き直しなさい。

① 先生、人数の集計は私がします。［　　］
② 先生が説明してくれた。［　　］
③ 監督から選手に注意してもらいました。［　　］
④ いますぐ、そちらに行きます。［　　］
⑤ 洋食と和食のどちらにしますか。［　　］
⑥ 博士から写真をお借りして見る。［　　］

4×6

敬語

組　番　名前

明治図書版

解答

1 ①ア　②イ
③ウ　④イ
⑤ア

2 ①おっしゃる（言われる・お言いになる）
②ご覧になる（見られる）
③召し上がる（お食べになる・食べられる）

3 ①イ　②イ

4 ①ございます
②です
③お茶　④ごはん
（③・④は、それぞれ「お」「ご」だけでも正解。）

5 ①○　②×
③○　④×
⑤×

6 ①いたし
②くださった
③いただき
④参り（伺い）
⑤なさい（され）
⑥拝見する（見せていただく）

解説

1 ①「お（ご）～になる」は尊敬語、④「お（ご）～する」は謙譲語と、セットで覚えておくとよい。
②「差し上げる」は謙譲、⑤「いらっしゃる」は尊敬の意味を含む動詞。

2 ①「おっしゃる」、②「ご覧になる」、③「召し上がる」は、テストによく出る尊敬語の代表的なものなので、覚えておくとよい。
②は、「拝見する」では謙譲語になってしまう。

3 ①校長先生という目上の人の話を聞くのだから、謙譲語を用いる必要がある。「伺う」は「聞く」の謙譲語。ウは尊敬語。
②身内の者である「母」の動作を目上の人に話すときは、謙譲語で表現するのが正しい。

4 丁寧ではない普通の言い方に言い換えてみて、形が変わる部分が丁寧語。（例①どうもありがとうございます→どうもありがとう）
③の「お出しする」は謙譲語。
敬意を表すのではなく、話し手が自分の言葉を丁寧にしようとした言い方が美化語。相手のものを指す場合（例先生のお手紙）は尊敬語になるので注意する。

5 ②「存じ上げている」などなら正しい表現になる。
④「おる」は「いる」の謙譲語。
⑤「眺め」を尊敬していることになるので×。

6 ①・③・④・⑥は謙譲語、他は尊敬語にする。
④「伺う」は「聞く」「行く」の二つの言葉の謙譲語として使われる。